

「生活道路対策エリア」の取組事例とくしま のほりちょう (徳島県徳島市幟町地区の事例)

イメージハンプ
路面表示

- 徳島市幟町地区では、新町小学校前において速度30km/h以上の超過割合が高く、危険な状況
- 新町小学校前の生活道路対策として、イメージハンプや通学路の路面表示を設置
- 新町小学校前の東側道路では、速度30km/hを超過する車両割合12%減少し、平均速度が5km/h低下

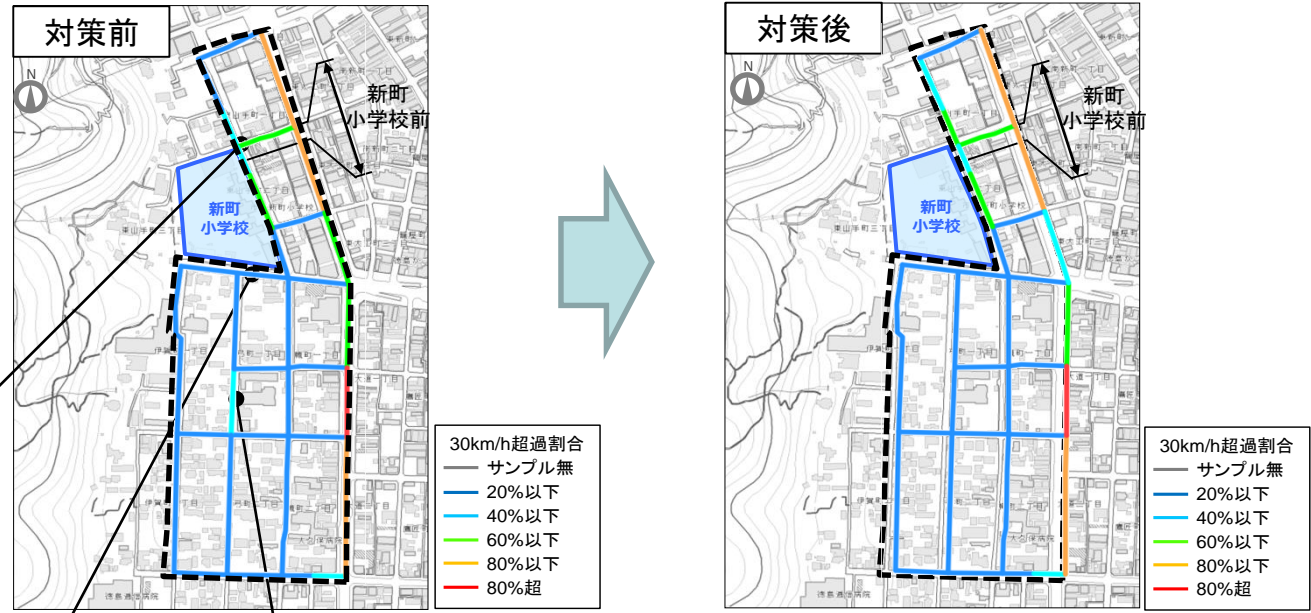
取組概要



○関係機関・地元協議の開催
近隣学校施設・地元関係者、徳島県警等と生活道路安全対策事業に関する検討を実施

H27.11 : 現地点検
H29.9 : 対策実施
H29.11 : 効果検証

ビッグデータ分析結果



整備状況



イメージハンプを設置 「通学路」路面表示を設置 (イメージハンプを狭く) を設置

整備効果

	30km/h超過割合		平均速度	
	エリア全体	新町小学校前	エリア全体	新町小学校前
対策前	54.9%	38.1%	32.9km/h	28.1km/h
対策後	55.1%	25.9%	32.6km/h	23.1km/h

(+0.2%) (▲12.2%) (▲0.3km/h) (▲5.0km/h)

【出典】1. 履歴点データ：ETC2.0フローブデータ (30km/h超過割合) (平均速度) 【対策前】H28.12~H29.4. 【対策後】H30.2~H30.6
【対策前】H28.12~H29.4. 【対策後】H30.2~H30.6
2. 背景地図：国土地理院